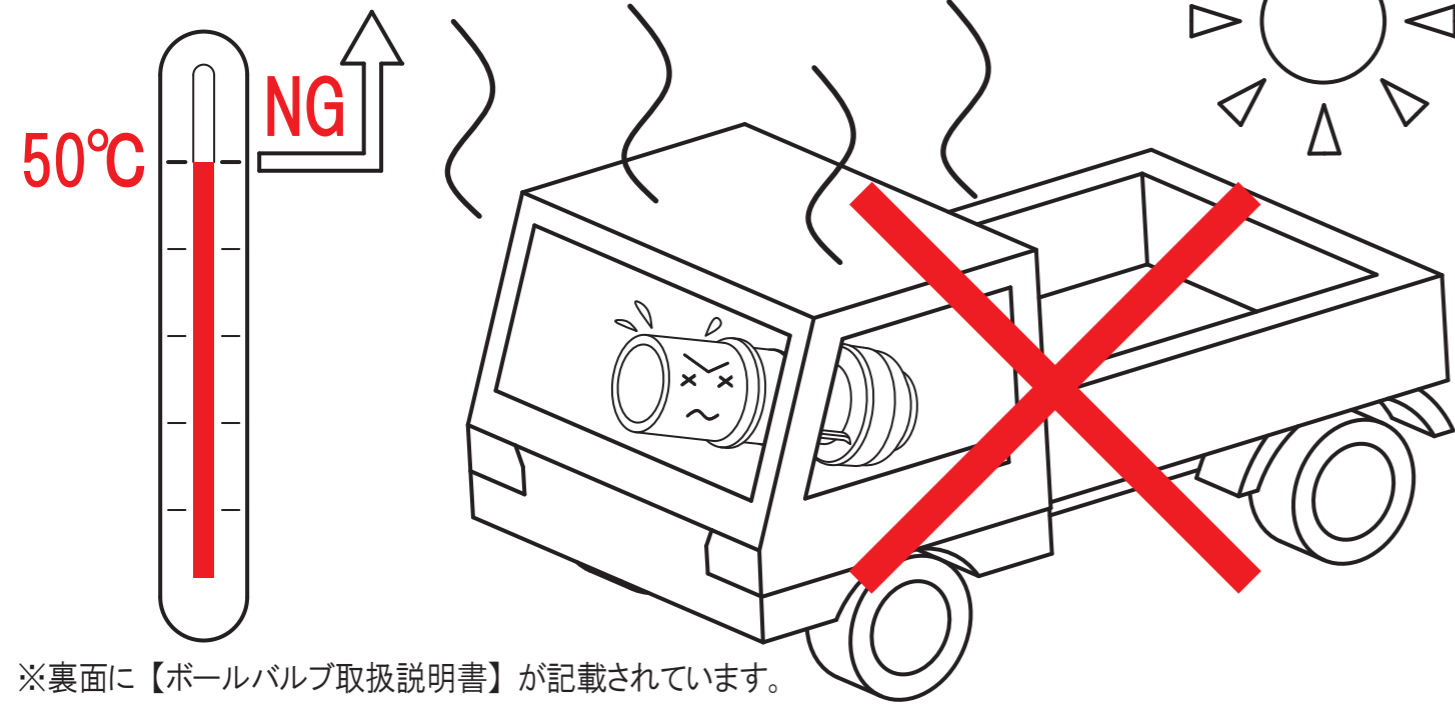


# ⊘ 高温環境下での保管禁止

HIVP接続継手は環境温度が50℃以上になると製品が変形し漏れの原因となります。  
 夏季に車内保管する際は特に注意が必要です。  
 炎天下では車内温度が短時間で50℃以上に達します。



※裏面に【ボールバルブ取扱説明書】が記載されています。

1A-383+00+01Y

## ONDA ボールバルブ (長さ調節式ハンドル・HIVP接続仕様) 取扱説明書

ⓘ 『強制』内容です   ⊘ 『禁止』内容です   ⚠ 『注意喚起』内容です

必ず以下の仕様の範囲内で使用して下さい。

使用温度範囲	最高許容圧力	用途
5℃～35℃ (逆止弁内蔵製品の 二次側逆流時は80℃以下)	1.0MPa	給水

※本製品は水圧検査時に1.75MPaまで加圧可能です。  
 HIVPについては製造メーカーに確認して下さい。

・バルブ・逆止弁は凍結により、破損する場合があります。  
 凍結の可能性がある場合は、必ず凍結防止対策  
 (保温処理など)を施して下さい。

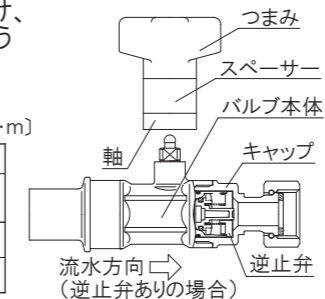
・Gねじの接続には必ずパッキンを使用して下さい。

ⓘ 強制  
 ・パッキンは消耗部品です。  
 必ず点検、交換が可能な場所に取付けて下さい。

・Gねじのねじ込みの際は下記の  
 適正締付トルクで締付け、  
 過大な力を掛けないよう  
 注意して下さい。

■適正締付トルク 単位 [N・m]

呼び径	Gねじ	
	ノンアスベスト パッキン	EPDM パッキン
1/2	20～30	15
3/4	30～40	15

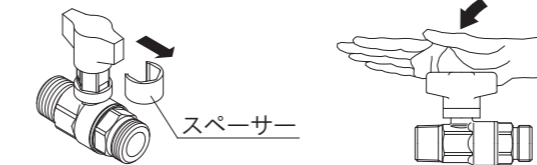


### 【長さ調節式ハンドルの変換手順】

⊘ 禁止  
 ハンドルに過大な力を加えてはいけません。  
 破損の原因となります。

#### <ロングハンドル → ショートハンドル>

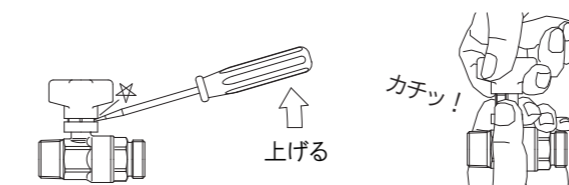
1. スペーサーを取外します。
2. バルブ本体を抑えながら手でハンドル上部をたたき、  
つまみと軸の間隙がなくなるまでつまみを下げます。



⚠ 注意  
 変換の際、ハンドルで指などを挟まないよう注意して下さい。  
 再度ロングハンドルに戻す場合は、スペーサーが必要と  
 なりますので、スペーサーを紛失しないよう注意して下さい。

#### <ショートハンドル → ロングハンドル>

1. やむをえずショートハンドルからロングハンドルへ  
変換する場合、つまみと軸の間の窓に  
マイナドライバーを必ず奥まで挿入し  
テコの原理を利用して固定状態を解除します。
2. 軸を持ちながらカチッと音がする位置まで  
つまみを引き、スペーサーをはめます。



ⓘ 強制  
 ・HIVPは JIS K 6742 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管を  
 必ず使用し、HIVP用接着剤の注意事項をよく読み、  
 必ず指示に従って下さい。

ⓘ 強制  
 ・HIVPの管端には1mm程度の面取りを必ず施して下さい。  
 面取りがない場合、塗布された接着剤が管や継手内へ  
 掻き出され、接着強度不足や膜張り現象による  
 流路閉塞を引き起こす恐れがあります。

ⓘ 強制  
 ・HIVP及び継手周りにシーリング材を使用する  
 場合、シーリング材にフタル酸エステル系  
 可塑剤及び非反応性高沸点希釈剤が  
 入っていないことを必ず  
 シーリング材メーカーに  
 確認して下さい。

⊘ 下記成分を含むシーリング材  
 (・フタル酸エステル系可塑剤  
 ・非反応性高沸点希釈剤)

⊘ 禁止  
 ・給湯用配管に使用してはいけません。

⊘ 禁止  
 ・変形や寸法変化の恐れがあるため、50℃以上の  
 高温になる場所や外力が掛かる場所で  
 保管してはいけません。

⊘ 禁止  
 ・バルブ本体とキャップは分解してはいけません。

⊘ 禁止  
 ・半開状態で使用してはいけません。  
 シートを損傷し、漏れの原因となります。

⚠ 注意  
 ・HIVP配管後、接着剤がバルブや継手内に  
 入り込まないように注意して下さい。

⚠ 注意  
 ・逆止弁内蔵製品を配管する場合、流水方向に  
 注意して下さい。本体に流水方向が表示してあります。

### 【耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) 接続手順】

1. 塩ビカッターを用いて切断し、管端を1mm程度  
面取りする。
2. 管表面の管端から差込代Lの位置に標線を  
マーキングする。
3. 継手側に耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管用接着剤を  
薄く均一に塗布する。
4. 管に耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管用接着剤を  
薄く均一に差込み長さ分塗布する。
5. すみやかに管を継手に差込む。  
必ずしも標線まで挿入する必要は無いが、継手に  
管を軽く挿入して止まる位置(ゼロポイント)から  
差込代Lの1/3以上深く挿入すること。
6. 管を挿入した状態で30秒以上保持する。
7. 接着後、はみ出した接着剤は拭取る。
8. 外力が加わらない状態で、接着剤を1日乾燥させる。
9. 管内には接着剤の溶媒蒸気が充満しているため、  
通風等により管内の溶媒蒸気を追い出す。

呼び	差込代 L
13	26mm
16	30mm
20	35mm

### 株式会社 オンダ製作所

商品の技術的なお問合せ専用回線です。  
 (ご注文は営業窓口へお願いいたします。)  
 URL <https://www.onda.co.jp/>  
 ●営業本部 〒501-3263 岐阜県関市広見851番地の3  
 TEL (0575)24-8585 (代)   0120-12-8585  
 ●お客様相談窓口 受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00  
 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

材質：紙